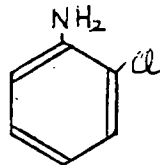


# 0-クロロアニリンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年9月9日～昭和50年10月20日
2. 試料名 0-クロロアニリン (試料No K-141)
- 分子式  $C_6H_5ClN$
- 構造式



## 3. 試験方法及び条件

環保業第5号  
 薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
 49基局第392号

### 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

### 3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

### 3.3 生分解試験後の直接定量法

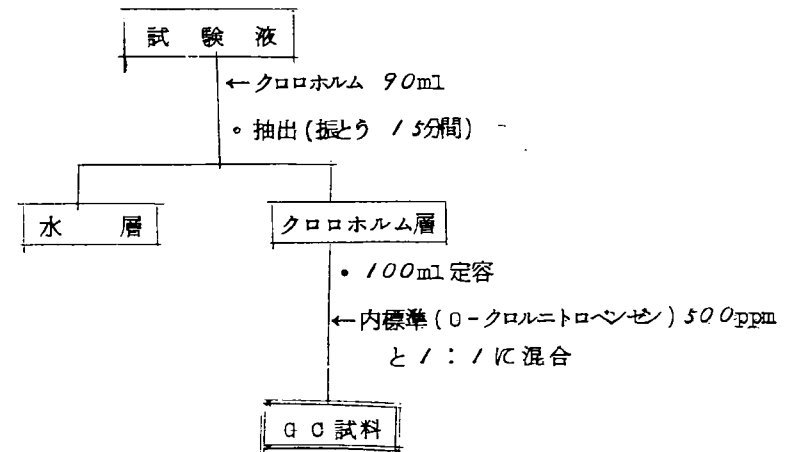
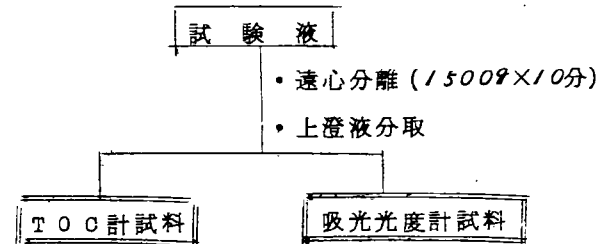
#### (a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

紫外可視自記分光光度計

## (b) 分析試料の前処理



## (c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TOC回路 200ml/min

温度 TOC炉 840℃

紫外可視自記分光光度計 (吸光光度計)

波長 200nm～370nm

スリット幅 4nm

使用セル 石英セル 1mm

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 4%アピエソル L/クロモソルブ W

ガラスカラム 2mmφ×2m

カラム温度 100℃

#### 4. 試験結果

|              | 分解度(%) | 付 図 | 付 表 |
|--------------|--------|-----|-----|
| 酸素消費量による結果   | 2.7    | 1   | —   |
| T O C 計による結果 | 0      | 2   | 1   |
| 吸光光度計による結果   | 3.5    | 3   | 2   |
| G C による結果    | 4.7    | 4   | 3   |

#### 5. そ の 他

操作上特に問題となることはなかつた。

以 上